

Web シンポジウム『休廃止鉱山と土壤環境に関わる研究の新たな展開』  
講演資料

|  |                                     |
|--|-------------------------------------|
| <p>講演番号：03</p>   | <p>演題：休廃止鉱山における坑廃水処理の高度化研究事業の進捗</p> |
| <p>発表者：迫田昌敏</p>  | <p>所属：石油天然ガス・金属鉱物資源機構</p>           |
| <p>キーワード：休廃止鉱山、発生源対策、坑廃水処理、パッシブトリートメント</p> <p>要旨：石油天然ガス・金属鉱物資源機構では、平成 30～令和 2 年度の 3 年間の計画で、経済産業省からの委託を受けて、「休廃止鉱山における坑廃水処理の高度化調査研究事業」を実施中である。この事業は、休廃止鉱山における坑廃水処理の高度化を確立させ、将来的に、坑廃水処理に係る電力消費量を削減させることを目的としており、この事業目的を達成するために、次の 2 つのテーマを設定している。第 1 のテーマは、休廃止鉱山における坑廃水量の削減手法を確立させるため、地下水挙動シミュレーションツールを用い、地下水制御に係る最適な対策工事や管理対策の優先順位を定量的に評価できるようにすること、第 2 のテーマは、坑廃水処理コストの削減が期待されているパッシブトリートメント等自然力活用型坑廃水処理システムを、坑廃水の状況や立地条件等を勘案し、最適化するための、水質改善メカニズム解明とシステム導入ガイドラインを作成することである。本講演では、3 年計画の 3 年目である現在の事業進捗状況を報告する。</p> | <p>鉱害防止対策の概要 1</p>                  |